

多胎シンポジウム

in FUKUOKA 2024

7.20(土) 13:00~15:30
(12:30 受付開始)

会場 天神FFGホール
福岡市中央区天神 2 丁目 13-1

当日申込
OK

参加費
無料

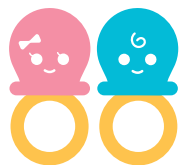
多胎交流会
同時開催!

..すみません..

から

..ありがとう..

7



一般社団法人

tatamama とは?

「多胎児ママにやさしい街は、すべての人が暮らしやすい街」をミッションに、多胎育児の支援を通じ、子どもや高齢者、障がい者も含む、すべての人が生きやすい社会を実現していきます。

主催 一般社団法人 tatamama HP: <https://tatamama.org/>
福岡市中央区大名 1-3-32 ラコルテ大名 203 お問い合わせ: info@tatamama.org

後援 福岡県、福岡市、古賀市、FBS福岡放送

オンライン参加 OK



公益財団法人
キリン福祉財団
The KIRIN Welfare Foundation

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

お申し込みはこちら

多胎シンポジウム in FUKUOKA 2024

：すみません： から ：ありがとう：へ

プログラム・登壇者

第1部

13:00～

なぜ多胎支援が必要なのか

登壇者：太田ひろみ氏



日本多胎支援協会理事
太田 ひろみ 氏

杏林大学で長年多胎育児研究に従事。多胎交流会や杏林大学病院とのプレパママ教室なども開催する。多摩多胎ネット初代代表。双子の母。

第2部

14:00～

男性育休について

登壇者：田辺一城氏



古賀市長
田辺 一城 氏

女性の社会進出には男性の育児参加が必要不可欠だとし、子育て支援に力を入れる。古賀市役所の男性職員育休取得率は100%。2児の父。

第3部

14:40～

それぞれの立場で考える多胎支援

登壇者：太田ひろみ氏・田辺一城氏・大田京子氏



福岡県議会議員
大田 京子 氏

一般企業にて勤務後、人々の心のケアの必要性を感じ鍼灸師資格を取得。真の根本治療は社会の仕組みを変えることだと政治家へ。福岡県議会議員3期目。3児の母。



財津 ひろみ 氏 FBS福岡放送アナウンサー・双子の母

『めんたいワイド』『バリはやッ! ZIP!』などに出演。現在はFBSNEWSを担当する。2021年に男女の双子を出産。育児での気づきや奮闘ぶりを発信している。



多胎交流会 同時開催



多胎妊産婦さんとご家族の皆さん

- ✓ 産後に備え、専門家や先輩タタママ・パパに話が聞ける。
- ✓ 実際に、双子 & 三つ子の様子を知ることができる。



多胎育児当事者の皆さん

- ✓ 多胎育児当事者同士のつながりを深め、育児にまつわる孤独や不安感を解消できる。
- ✓ お風呂や同時授乳、お出かけの方法など多様な情報交換ができる。



一般社団法人
tatamama代表理事

牛島 智絵

主催者の思い 多胎育児の現状を知っていただき、考えるきっかけをつくりたい!

団体設立から1年が経過し、開催した相談会や交流会は20回以上にのぼります。保育士や助産師などの資格を活かして多胎育児をサポートするtatamamaサポーターには、50名以上がご登録いただいております。一人でも多くの方に多胎育児の現状や課題を知っていただくことで、一人ひとりの参加者に多胎育児支援にどんな形で参加できるのか考えるきっかけをつくりたいと考えています。当日は多胎児世帯の生の声も聞いていただける予定です。ぜひお待ちしております。